

各位

kawasaki-info



Vol. 169 (2025年11月発行)

発行：学校法人川崎学園

川崎医科大学総合医療センター

患者診療支援センター 地域医療連携室

「IVR センターと IVR-CT」

川崎医科大学総合医療センター

放射線科部長 金澤 右

IVR という言葉をご存じでしょうか。IVR は Interventional Radiology (インターベンショナルラジオロジー) の略語です。世界的には IR と略されていますが、わが国では IVR と通称されています。Interventional は「介入的な」と訳されるので、Interventional Radiology は「介入的な放射線科診療」という意味になります。つまり、画像を診断する放射線科診療に何らかの介入を加えて行う (それはカテーテル造影であったり、画像ガイド下生検やステント挿入であったりしますが) 診療を意味しており、単に診断するだけではなく、患者さんの治療に直結する診療です。IVR の概念を初めて提唱したのは、米国の放射線科医 Charles Dotter で、1964 年に世界初の経皮的血管形成術を実施し、IVR の礎を築きました。手術をせずに、血管造影のカテーテル手技で狭窄した血管を拡張させるという画期的な治療方法でした。それから 60 年の歴史を経て、現在 IVR は外科的手術に代る低侵襲的先端医療として欠かせない診療分野となっています。IVR によって、患者さんは体にメスを入れることなく、短い入院期間で効率的な治療を受けることができます。

川崎医科大学総合医療センター7階には、血管造影装置4台を備えた県内屈指の規模の IVR センターがあり、放射線科、血管外科、循環器内科、肝臓内科、脳外科などの専門医が心大血管疾患、腫瘍などの IVR 治療を年間約 1500 件行っています。

特筆すべきは、この IVR センターは IVR-CT (図1) も備えているということです。IVR-CT は、わが国で開発された血管造影装置と CT を融合させたハイブリッド型の医療装置で、リアルタイム透視と高精度な断層画像を同一の検査台で取得できるシステムです。透視下で治療を行いながら、必要に応じて即座に CT 撮影ができる、あるいは CT 画像ガイドで病変に針を正確に刺入して低侵襲治療を行うなどの様々なメリットがあります。例えば、IVR-CT を用いて行う腎臓がんのラジオ波治療 (図2) は、径 4cm 以下であれば、手術と同様の制御成績であり、現在は保険診療となっています。

IVR は様々な疾患に有効ですが、適応と思われる患者さんがいましたら、関連診療各科にお気軽にご相談・紹介ください。

(図 1)



(図 2)



セミナーのご案内

別紙のとおり、急性期病院として地域住民に安心を提供できる医療連携の構築を目指し、病診連携・病病連携の充実を図ることを目的として下記を開催いたします。

奮ってご参加をお願いいたします。

令和7年度 第5回 Kawasaki 連携フォーラム Webセミナー

日時 : 令和7年12月10日(水) 19:00~20:00 (入室 18:30~)

方法 : オンライン (Zoom)

テーマ : 「日常診療で遭遇する肝疾患」

講師 : 川崎医科大学総合医療センター 内科部長 白羽 英則

対象 : 医師・医療従事者

参加費 : 無料 (岡山県医師会生涯教育単位 1.0 申請中)

申込方法 : 氏名・施設名・職種・医師登録番号 (医師のみ) ・住所・電話番号を記入の上、地域医療連携室にメール (renkei@hp.kawasaki-m.ac.jp) でお申し込みください。

ハイフン

ホットラインのご案内

脳卒中ホットライン

- 24時間365日対応いたします。
- 脳卒中専門医師に直通電話でコンサル
- 「お断りゼロ」を目指します。
- 脳血管疾患の診療依頼の他のご相談も含めてお気軽にご連絡ください。



循環器ホットライン

- 緊急の循環器疾患に関するお問合せ・ご紹介時に専門医師が直通電話で対応します。



病院理念

1. 医療は患者のためにある
2. すべての患者に対する深い人間愛を持つ
3. 24時間いつでも診療を行う
4. 先進的かつ高度な医療・教育・研究を行う
5. 地域の医療福祉の向上と医療人の育成を行う

学校法人川崎学園 川崎医科大学総合医療センター
患者診療支援センター 地域医療連携室

〒700-8505 岡山市北区中山下二丁目6番1号

TEL 086-225-2133 (直通)

FAX 086-221-1101

E-mail shien@hp.kawasaki-m.ac.jp